



菖蒲田浜の朝

厚生協会だより

2015年1月21日
第 329 号

発行
公益財団法人
宮城厚生協会

〒985-0835
宮城県多賀城市下馬
二丁目13番7号
TEL 022-361-1113
FAX 022-361-1124
発行人：横山公樹

あの日のことを

(2011.3・11東日本大震災)

- 一、忘れないで あの日のことを
雪が舞う 寒い午後でした
突然の地鳴り すぐに長い揺れ
激しく押し寄せる 巨大な津波
忘れないで あの日のことを
- 二、忘れてはいけない あの日のことを
あらゆるものが 崩れていった
多くの生命が 流され奪われ
残された者は 心に深い傷が
忘れてはいけない あの日のことを
- 三、伝えねばならない あの日のことを
子どもや孫や 未来のために
道のりは遠く きびしいけれど
支えあいながら 生きてゆくことを
伝えねばならない あの日のことを

◇朝、久しぶりに七ヶ浜の菖蒲田浜海岸に行く。夜中に降った雪も止んだ。津波で流されてしまったこの地域にあった民宿で、以前は学習合宿などよく行なわれたものだが、今はその跡形は何もない。心にはありきたりの言葉しか思い浮かばない。少し雪に覆われた白い砂浜と快晴の青い空と青い海は、何事もなかったかのように『美しい景観』だけがあった。

(いわね)



年頭のごあいさつ

地域に大きな貢献を果たす 覚悟と責任が問われる年

(公財) 宮城厚生協会理事長 今田 隆一

(公財) 宮城厚生協会に所属の役職員のみなさん。明けましておめでとございませう。天候不順がこの冬も続く中、お元気に新年を迎えられたことと思います。

法人設立から65年目

法人設立から65年目になる今年2015年は東日本大震災から4年目の年にあたり、復旧・復興を本格的に成し遂げなければならぬ地域的な重大な課題を抱えた年です。法人としての本来的業務である医療・介護・福祉活動を通じて地域に大きな貢献を果たす覚悟と責任が問われる年でもあります。大いに団結を固め、日々の実践を強め、私たちに付託されている使命に堪えていくことをみなさんとともに誓い合いたいものです。

経営は困難な局面に

昨年は消費税が8%へとアップされ、4月の診療報酬ではマイナス改定が実施、急性期診療の分野に対しては特に厳しいものとなりました。そ

の結果、法人はこの数年間なかったような経営困難な局面に立たされています。のみなさん10月からは地域医療ビジョンを見据えた病棟・病床機能の報告制度が始まっており、2025年問題に名を借りた急性期病院の急激な絞り込みの序章となっています。

すべての事業所が 応分の役割発揮を

一方、地域包括ケアの動きは、今年の介護報酬の切り下げが施設利用を中心に行われようとしているように「医療から介護へ」「施設から在宅へ」の流れが急速に強まっており、急性期医療に軸足を置いて進めてきた法人のこれまでの方針に一定の転換が余儀なくされる事態となっています。経営上からも「坂病院が何とかなれば」というこの数年間の傾向から脱皮してすべての事業所が応分の役割を發揮することが求められています。

.....
東北薬科大学病院に医学部新設が決まり、地域医療の点

では仙台市の東側、塩竈・多賀城地区に大きな変動が起ることが予想されています。国では「非営利ホールディングス」という新しい法人合併のあり方まで研究されています。これは大学病院を核とした複数の大病院がネットワークを作り、さらに一部の社会福祉法人まで抱え込んで高度急性期から慢性期まで全てを内部で網羅する、新たな患者囲い込みともいうべきものです。いずれの事態もこれまでの法人のあり方に関わる重大な問題と課題を突きつけています。

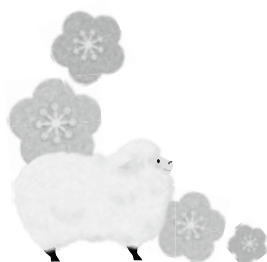
.....

宮城民医連では新しい長期計画の議論が始まっています。法人理事会でも中・長期計画を検討するプロジェクトを発足させています。また法人のあり方に関わって人事育成方針と組織マネジメントのあり方を検討する2つのプロジェクトも発足させています。これらのプロジェクトにおける検討の中間報告と一定の提案はこの春に行なう予定となっています。

「あつてよかった」と高く評価される
法人目指す

役職員のみなさん。こうした外部環境の変化に機敏に対応しつつも同時に、非営利・公益の法人らしい、また全日本民医連に加盟している事業所で構成された法人らしい使命感に支えられた、患者・利用者、住民、そして働く職員から「あつてよかった」と高く評価してもらえぬ法人をこれからも目指し、引き続き邁進していく所存です。

みなさんからの温かくも厳しいご指導とご鞭撻を期待してごあいさつとさせていただきます。



昨年10月に「ケアステーション」として活動を開始した7事業所の所長さんに近況や公私交えての抱負を語っていただきました。

ケアステーション所長

今年の抱負

「できないことはない」の精神で

努力していきたい

ケアステーションしおかぜ

所長 永井 知枝



新年あけましておめでとうございます。

昨年10月に「ケアステーションしおかぜ」と名称変更をしました。すでに、訪問看護・居宅介護支援・訪問介護を一体に運営しておりますので、戸惑いもなく、今日に至っております。

しおかぜのチームワークを活かして、今年度は「定期巡回随時対応型訪問介護看護」への取り組み、小児・障害を持つ方々・精神疾患を持つ方々などへの積極的な関わりなど、今までの取り組みを、さらに充

実させていければ良いと考えています。

今年「しおかぜ訪問看護ステーション」として開設して20年、「しおかぜホームヘルパーステーション」として開設して15年の節目の年になります。

歴代所長様方、スタッフの方々のご尽力で、今、こうして地域の中にあるのだということを、日々、感じています。

「3代目はだめにする…」などと言われないように、「できないことはない」の精神で努力していきたいと思っています。

皆様に、喜び、頼りにされる

ステーション目指します

ケアステーションながまち

所長 板橋 静子



明けましておめでとうございます。

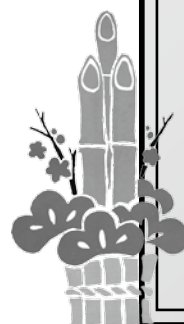
は震災から3年2ヶ月、引越して2階に事務所を移動。10月にケアステーションとなり、11月よりヘルパーの一部をケアステーション郡山へ分割異動し、ヘルパー14名・看護師13名・事務3名・支援のりハ5名のスタッフで活動しています。元気で明るく気配りのきくスタッフ構成ですが、昨年は中々赤字から脱却できず収支報告の際は暗くなっていました。

今年は日常の頑張りが収入に反映

出来るように皆で奮闘したいと思っています。

訪問先は難病の大人や小児・認知症・施設入所・自宅看取り・老々介護・介護者に恵まれた方から身寄りもない独居・リハビリ等多岐に渡っています。沢山の出会いがあり、別れもあります。今後も皆様に喜んで頂き、頼りにされるようなステーション目指していきたいと思っています。

最近の残念は、協会内の職員に「ケアステーションながまち」と電話をかけても、旧ほほえみ・旧ながまちヘルパーステーションと分かって頂けない事がありました。今回を機に皆様に知って頂けたら幸いです。本年もよろしくお願い致します。



各地のお寺回りと百人一首学ぶ事を

目標にしたい



ケアステーションあゆみ

所長 伊藤久美子



明けましておめでとうございます。ケアステーションあゆみになって初めて

の新年を迎えました。昨年、中新田訪問看護ステーション、さつきヘルパーステーションと訪問看護ステーションあゆみ、ヘルパーステーションあゆみが合併し、利用者数300名(大崎市、美里町、加美町、色麻町)、スタッフ数40名の大規模ステーションとなりました。

今年の抱負は公としては、「地域包括ケア」を視野に入れた事業の展開です。今年は、2025年を第一歩とする「地域包括ケア」がいよいよ動き出します。自分達が暮らす市や町、地域がどんな「地域包括ケア」

を創り出すか、在宅療養者の支援事業所としてその真価が問われる年です。

ケアステーションは医療と介護の要としてその役割が期待されています。その役割を発揮していくためには、日夜に関わらず日々訪問しているスタッフが原動力となります。昨年、今年と訪問を志す30代の看護師が加わりました。その若い力を育てながら、スタッフ一同団結して様々な課題に取り組んでいきたいと思っています。

私事として、各地のお寺回りと百人一首を学ぶ事を目標にしたいです。長年の夢でしたがなかなかできずにいたので今年は是非挑戦してみたいと思っています。

まずはこの1年、自分の身体を大切にがんばります。

利用者に寄り添ったケアが出来るよう

スタッフ一同がんばります

ケアステーション南光台

所長 中村ゆき子

「ありがとう」の言葉を大切に

受け止め頑張っていきたい

ケアステーション郡山

所長 大友真智子



明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願い申し上げます。

2014年は公私共々いろんなことがありました。毎日、気忙しく走り回ったような1年でした。

最近、年齢と共に身体の衰え、限界を感じる今日この頃、抱負と言え、まずは自分の健康管理、元気でいられ、少しでも長く大好きな訪問看護の仕事が続けられる事です。

身体的にも精神的にも健康でなければ良い看護の提供が出来ません。そのためにも私自身はもちろんの事、スタッフ、家族の健康管理を第

一に考えたいと思います。2015年は激動の1年になりそうですね。

4月には定期巡回、随時対応サビスの開始、また、機能強化型訪問看護ステーション設置の予定があり、同時に居宅介護事業も開始になりそうです。

多様化する業務に振り回される1年にならないようにする事、地域包括ケアにおける訪問看護師としての役割を理解する事、そして、スタッフ全員が訪問看護師としての誇りを持ち、利用者、家族の気持ちを尊重し「ありがとう」の感謝の言葉を大切に受け止めながら1年間、頑張っていきたいと思っています。

わたしたちの「医療宣言」を抱負として

実現に勤めます

ケアステーションいずみ

所長 佐藤田鶴子





あけましてお
めでとうござい
ます。

昨年は、ステー
ション開設以来

同じ建物の中で一緒に歩んできた南
光台地域包括支援センターが移転
し、ヘルパー事業を10月に併設しま
した。名称も「ケアステーション南
光台」として新たに発表しました。

更に今年は、ケアマネ事業も行な
いこれまで以上に忙しい年になりそ
うです。

訪問看護に没頭して日々飛び回っ
ている日常から、管理業務を中心に
事業所全体を管理するように介護部
長から、何回も指導されますが思う
ように行かず焦りだけが出ている今

日この頃です。(新年のご挨拶とし
ては相応しくない出だしになってし
まいました。)

そうは言っても、これからの高齢
化社会では在宅サービスの質・量の
確保、重度の利用者にとっては、タ
イムリーに対応できるシステムが安
心して在宅生活が維持できる鍵にな
ってくると思います。

より、利用者に寄り添ったケアが
出来るようにスタッフ一同がんばり
ます。本年もよろしくお願い致しま
す。

まず、今年は築〇〇年で、床が傾
き冬でも通気性のとても良い事務所
をスタッフの健康維持の為にもなん
とかしたいと思っています。

利用者さんが安心して住み続けられ るよう総合的に支援します！

ケアステーションつくし

所長 鈴木留美子



新年あけましておめで
とうございます。

今年は羊年。私の好きな
動物のひとつなのです。あ
のやさしい目とモコモコし
た体、なんとも癒されます。
定年後は山奥に牧場で、ひ
つじさんを一杯飼いい、羊毛
製品化し暮らせるかな？そ

んな夢をみています。

個人的ですが『今年の目
標は腹囲〇〇cm、体重〇〇k
g維持』。というのは、初
売りで主人から『腹筋マシ
ーン』を買ってもらいまし
た。ブランドのバックじゃ
ないの？と思いましたが素
直にありがたうと言いまし
た。運動不足の私を心配し
てのプレゼントなのでしょう
う。まだ実行していません
が、3日坊主にならないよ

うに頑張ろう!!

さて、ステーションは昨
年10月より名称も変わり、
訪問系一体化になり、看護
師・ヘルパー・ケアマネジ
ヤーと、各職種スタッフが
まさに顔の見える関係が築
かれ「ワイワイ、がやがや」
と賑やかに事業を展開しま
した。全員女性でしかも超
ベテラン集団ですので事務
所の中は楽しいです。
4月からリハビリスタッ



新年あけまし
ておめでとうご
ざいます。

昨年10月に
”住み慣れた

地域で自分らしい暮らし・人生を最
後まで続けられるよう、医療・介護・
予防・生活支援が一体的に提供でき
る「事業所を目指し、ケアプランセ
ンター・長命・長命ヶ丘ヘルバーステ
ーション・いずみ訪問看護ステーシ
ョンが統合し、ケアステーションい
ずみとしてスタートしました。

3事業の利用者は約300名とな
ります。事業所のある長命ヶ丘地域
は高齢化率31・3%、近隣地域も高
く、これからますます介護の手を必

要とされる方が増えると思われま
す。スタッフも40名と大所帯となり
ました。うう大変です。4月からは
「定期巡回・随時対応サービス」が
開始予定です。

2002年に作成したわたしたち
の「医療宣言」を抱負にかえさせて
頂きます。

*百人百通りのケアで心の笑顔めざ
します。

*利用者本人が主人公。利用者、家
族の方々の声、思いを聞き、その人
らしく生きることができるようお手
伝いします。

*在宅生活がよりよいものになるよ
う医療、福祉そして地域の方たちと
の連携を大切にします。

フが常勤されます。なんと
待望の男性スタッフです。
待つていましたよ。これま
で以上に、それぞれの力を
大いに発揮し、利用者さん
が安心して住み続けられ
るよう総合的に支援してい
きます。今年もどうぞよろ
しくお願い致します。



エッセイ
さわやか

子育て全開！ 私のマイブーム

長町病院健康管理室 保健師

斉藤 裕子



「ママ、プリキュア つくって～」 「ほくはボウケンジャーがいいな～」

当時、保育園に通っていた子供達にいわれた一言がきっかけで「ハンドメイド」に目覚めた私。

元来、凝り性のため、一緒にテレビや映画をみたりキャラクターショー等に出かけ、まずはキャラを研究。

その甲斐あってキャラ弁はもちろん、発表会ドレス、浴衣、通園バッグ、おもちゃ等々、時間も忘れ、夜な夜な作り続け、コレクションができました。

手づくりのよいところは、オリジナルのため世界にたったひとつだけの作品だということ。なので、完成したときのあの達成感といったワクワクドキドキ★もうたまりません。

だってキャラものって買うと意外と高いんですものー。

●作ったキャラ弁たち



今では大きくなり文句ばっかりの子供達も、お気に入りキャラクターを作ってあげると「わあー！ママ、ありがとう」とにこにこ笑顔になり、いうことを聞くようになります。物には作った人の思いがこもっていて、大事にしなきゃならないということを理解してくれるといいなあ、と思いますが・・・。



●ブラチョコをケーキの上にのせて

というわけで、子供達から教えてもらったハンドメイドの楽しさは今でも続いており、最近ではアイシングクッキーやブラチョコ（細工チョコ）等お菓子作りにもはまっています。

またひとつじ年にちなみ、羊毛フェルトでマスコットやケーキを作ったり、手芸も大好きです。

今、私の一押しのキャラは「妖怪ウォッチのジバニャン」です。人気ですよ。

ただ、物づくりに熱中してしまうと、長時間同じ姿勢でいるため、肩がこったり背中がだるくなってきました。その解消のため、最近では「のびのびながまち」の健康運動指導士さん達から教わった「ストレッチポール」にもはまっています。

これは、体のゆがみを正し良い姿勢を作り出す作用があり、わずか 10 分のエクササイズで、体のこりやばりを和らげ、体を本来あるべき状態に戻すという、すぐれものです。

お正月の箱根駅伝の選手達も愛用していました。介護予防の運動教室等でも姿勢のよい高齢者は若くみえるし、実際お元気ですよ。私も保健師という職業柄、いつまでも若々しくいたいなあ・・・と思いこめて使用しています。



●ストレッチポールでのびのび

みなさんは、リラックスしたい時、体が疲れたと感じた時、ご自身で解決する方法をお持ちですか？ストレッチポールは、いつでも簡単に、自分で自分の体をリラックスさせることができるのでおすすめです。これからも、健康でいきいきとした毎日を過ごすために日頃から自分自身の体のケアをしながら、仕事に趣味にがんばっていききたいですね。

